



産肉性の高いデュロック種新系統「アイリスナガラ」

現在利用されているデュロック種系統豚「サクラ201」は、国が造成してから20年以上経過し、種豚としての能力が低下してきました。このため、平成12年度から日本で初めて県と県による系統豚の共同開発を岐阜県と取り組み、平成19年2月に新系統豚「アイ

リスナガラ」を完成しました。

「アイリスナガラ」は産肉性が高いのが特長で、1日平均増体重1000g以上で発育が良く、背脂肪厚も2.0cm前後と適度です。繁殖成績も良好なため、「アイリスナガラ」の利用で、より効率的に肉豚を生産することができます。

(畜産研究部)